

令和4年度
学校評価 結果と考察

我孫子市立白山中学校

令和4年度 白山中学校 学校評価

【生徒アンケートの結果と考察】 (単位：%)

令和4年度 白山中学校 学校評価 結果 【生徒】						
領域	No	質問内容	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
学校生活	1	学校生活は楽しく充実していますか。	52.6	38.0	7.5	1.1
	2	先生方に気軽に相談できますか。	25.5	43.2	24.8	4.9
	3	先生方は一人一人の生徒を大切に授業をしていますか。	38.3	52.4	6.8	1.3
	4	先生方は専門的な知識が豊富ですか。	46.7	46.5	3.8	1.3
	5	先生方は皆さんと一緒に清掃活動をしていますか。	39.8	43.1	12.2	3.8
	6	教室廊下・トイレ・校庭などでは、清掃がしっかりされていますか。	45.8	46.7	4.6	1.5
	7	あなたは進んで友達や先生にあいさつをしていますか。	50.9	39.8	7.3	1.3
	8	あなたは進んで学校へのお客様や地域の人にあいさつをしていますか。	37.2	46.2	13.0	2.7
	9	あなたは熱心に清掃に取り組んでいますか。	46.0	45.4	6.6	1.3
	10	あなたは学級や部活動の仲間に思いやりを持って接していますか。	61.5	32.8	3.3	0.7
	11	あなたは仲間と助け合って生活することを大切にしていますか。	62.8	32.1	3.6	0.5
	12	あなたは積極的に授業に参加していますか。	42.2	46.2	9.1	1.8
	13	あなたはタブレットを使った学習に積極的に取り組んでいますか。	50.7	39.2	7.7	1.6
	14	あなたは授業内容を十分に理解できていますか。	31.9	50.0	14.6	2.7
	15	あなたは授業で「振り返り」をその後の学習に活かしていますか。	20.3	50.2	25.2	3.5
	16	あなたは道徳の授業でよりよい生き方を考えていますか。	43.8	45.6	8.8	0.7
	17	あなたは、いじめや差別のない学校生活を送れていますか。	71.4	22.6	4.0	0.9
	18	あなたは読書を意欲的に行っていますか。	43.8	30.5	19.3	5.7
	19	あなたは学校行事に意欲的に取り組んでいますか。	61.3	30.8	5.3	1.5
	20	あなたは係・委員会活動に積極的に取り組んでいますか。	55.8	32.3	8.8	2.2
	21	あなたは部活動に積極的に参加していますか。	62.0	21.5	4.0	8.8
	22	社会や地域の課題に目を向け、SDGsの視点を持って学校生活を送っていますか。	24.3	52.0	20.3	2.9
	23	あなたは地震や火災などの防災について、意識して生活していますか。	37.4	43.2	16.2	2.4
	24	あなたは手洗い、検温、必要に応じたマスク着用など感染症予防をできていますか。	70.3	26.3	1.8	0.9
	25	あなたは歌声活動に協力して取り組んでいますか。	58.4	35.0	4.0	2.0
地域・家庭	26	あなたは公共のルールやマナーを守るようにしていますか。	75.0	23.0	0.9	0.4
	27	あなたは、健康な生活を送れるよう、毎日、朝食を取っていますか。	73.4	17.5	4.9	3.5
	28	あなたは、家庭学習に積極的に取り組んでいますか。	37.6	44.2	14.1	3.5
授業	29	あなたは、地域のボランティア活動や行事に参加していますか。	10.0	25.9	37.0	26.1
	30	あなたは将来の進路を見据えて、キャリア学習や進路学習に臨んでいますか。	37.0	43.4	16.2	2.4
	31	国語の授業は、わかりやすく、工夫された授業ですか。	59.7	32.8	4.0	2.2
	32	社会の授業は、わかりやすく、工夫された授業ですか。	67.2	25.5	4.9	1.5
	33	数学の授業は、わかりやすく、工夫された授業ですか。	52.4	33.9	8.9	3.6
	34	理科の授業は、わかりやすく、工夫された授業ですか。	43.1	35.4	14.2	6.6
	35	音楽の授業は、わかりやすく、工夫された授業ですか。	60.0	35.0	3.6	0.9
	36	美術の授業は、わかりやすく、工夫された授業ですか。	57.5	37.4	3.8	0.9
	37	保健体育の授業は、わかりやすく、工夫された授業ですか。	50.4	42.0	5.1	1.8
	38	家庭科の授業は、わかりやすく、工夫された授業ですか。	40.3	47.6	9.1	2.4
	39	技術の授業は、わかりやすく、工夫された授業ですか。	44.9	44.9	7.1	2.4
	40	英語の授業は、わかりやすく、工夫された授業ですか。	56.2	35.2	5.5	2.0
学校運営	41	本校スローガン「自律 共生 創造」を意識し、自身の向上に努めていますか。	34.3	49.1	12.8	3.6
	42	白山中学校に入学してよかったと思っていますか。	57.3	35.4	5.5	1.5

令和4年度 白山中学校 学校評価 結果 【教職員】

領域	No	質問内容	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
学校運営	1	本校スローガン「自律 共生 創造」が共通理解され、実践されている。	35.1	54.1	10.8	0.0
	2	本校は、各種お便り、連絡メール、HPで保護者に対して十分な情報を提供している。	48.6	48.6	2.7	0.0
	3	本校は、教職員間、管理職への報告・相談・連絡ができています。	54.1	35.1	10.8	0.0
	4	職員室は相談しやすい環境である。	37.8	40.5	18.9	2.7
	5	電話連絡、家庭訪問をするなど保護者との連携を確実にしている。	43.2	54.1	2.7	0.0
	6	教職員は、校務分掌に責任を持ち、成果と課題を意識しながら職務を遂行している。	43.2	48.6	8.1	0.0
小中一貫	7	白山中学校区では小中一貫教育の充実に向けている。 (具体例：白山中区3校合同研修・教育ミニ集会・児童会生徒会交流・小中一貫の日)	18.9	59.5	21.6	0.0
学習指導	8	授業の内容がわかりやすくなるように工夫している。	43.2	54.1	2.7	0.0
	9	授業の学習課題や目標をしっかりと示している。	48.6	48.6	2.7	0.0
	10	タブレット、ICTを活用している。	32.4	62.2	5.4	0.0
	11	「わからない」生徒を見逃さないようにしている。(個別最適な学び)	16.2	75.7	8.1	0.0
	12	授業を通じて、よりよい人間関係づくりに努めている。(協働的な学び)	43.2	51.4	5.4	0.0
	13	授業で「振り返り」を計画的に行い、授業改善に活かしている。	35.1	54.1	10.8	0.0
	14	学習規律を守り、意欲的な雰囲気づくりに努めている。	48.6	48.6	2.7	0.0
	15	学校図書館の活用を心がけている。	27.0	35.1	35.1	2.7
16	道徳の授業で、よりよい生き方が考えられるよう努めている。	27.0	64.9	8.1	0.0	
学校生活	17	挨拶を進んで行うよう、生徒に指導している。	51.4	43.2	5.4	0.0
	18	いじめや差別がないよう、日頃から指導している。	67.6	29.7	2.7	0.0
	19	行事や部活動等を通して、体力向上に努めるよう指導している。	67.6	24.3	8.1	0.0
	20	授業・学校行事・諸活動が「生徒主体」で行われるよう努めている。	59.5	37.8	2.7	0.0
	21	生徒と共に、学校を美しくするよう、清掃活動に取り組んでいる。	51.4	45.9	2.7	0.0
	22	公共のルールやマナーを守るよう働きかけている。	54.1	35.1	8.1	0.0
	23	思いやりを持って、クラスや学年、部活動の仲間に接するよう指導している。	56.8	43.2	0.0	0.0
	24	社会や地域の課題に目を向け、SDGsの取組をするよう働きかけている。	27.0	48.6	21.6	2.7
	25	生徒の悩み等に親身になって相談に乗っている。	59.5	37.8	2.7	0.0
	26	生徒が気軽に相談にできる機会や雰囲気を作るよう心がけている。	51.4	43.2	5.4	0.0
	27	地震や火災などへの防災について生徒に指導している。	48.6	43.2	8.1	0.0
	28	安全点検を確実にし、生徒に危険が及ばないように、早期改善に努めている。	43.2	45.9	5.4	2.7
	29	感染症・熱中症に対する危機管理を念頭に置いて指導している。	54.1	40.5	5.4	0.0
	30	キャリアパスポートを意識し発達段階に応じた進路指導(キャリア教育)をしている。	18.9	59.5	16.2	2.7
31	健康的な生活に心がけ、朝食を取るなど食事の大切さについて働きかけている。	43.2	32.4	24.3	0.0	
地域家庭	32	家庭学習に積極的に取り組むよう生徒に働きかけている。	35.1	51.4	13.5	0.0
	33	地域の一員として、地域の活動に参加するよう働きかけている。	24.3	45.9	24.3	5.4
目指す教師像	34	教育に情熱を持ち、一人一人の生徒を大切にしようとして心がけている。	64.9	32.4	2.7	0.0
	35	人間性や専門性の向上に努めている。	51.4	45.9	2.7	0.0
	36	多様性を認め、相手の立場に立って考えるよう心がけている。	54.1	43.2	2.7	0.0
	37	教育公務員としての自覚を持ち、誰からも信頼されるよう努めている。	62.2	35.1	2.7	0.0
運営	38	白山中学校に勤務してよかったと思っている。	54.3	34.3	11.4	0.0

令和4年度 白山中学校 学校評価 結果 【保護者】

領域	No	質問内容	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
学校運営	1	学校は教育目標や方針をわかりやすく示している。	20.2	68.9	9.7	0.8
	2	学校は保護者や地域の願いを取り入れる努力をしている。	17.3	67.7	12.3	2.1
	3	教職員は電話連絡、家庭訪問等をするなど保護者との連携に努めている。	29.0	52.3	16.3	2.1
	4	学校は感染症対策、防災など、生徒の健康や安全に配慮して指導を適切に行っている。	31.9	58.4	8.4	1.0
	5	学校は校舎、校庭、教室などの環境の整備に努めている。	28.6	64.8	5.6	0.6
小中一貫	6	白山中学校区では小中一貫教育の充実に努めている。 (具体例：白山中区3校合同職員研修・教育ミニ集会・児童会生徒会交流・小中一貫の日)	23.7	62.8	12.6	0.4
学校生活	7	子どもは楽しく充実した学校生活を送っている。	33.1	54.1	9.1	3.3
	8	教職員は一人一人の生徒を大切にして授業をしている。	20.0	64.2	13.4	2.1
	9	授業では、タブレット、ICTが活用されている。	26.3	54.3	17.1	1.8
	10	子どもにとって、授業はわかりやすいようだ。	11.9	58.6	26.5	2.5
	11	授業はルールが守られ、学習しやすく意欲的な雰囲気であるようだ。	15.4	68.9	13.2	1.4
	12	子どもは仲間と意見を交換したりしながら、考えを深めているようだ。	20.8	62.1	13.2	2.9
	13	子どもは進んで読書に取り組んでいる。	20.8	31.3	35.0	12.5
	14	子どもは学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる。	30.2	52.5	13.2	3.5
	15	子どもは、学級や部活動の仲間に思いやりの気持ちを持って接しているようだ。	38.7	55.3	3.9	1.4
	16	子どもは、いじめや差別のない学校生活を送れているようだ。	36.0	53.9	6.6	2.9
	17	子どもは、行事や部活動等を通して、体力向上に努めている。	40.1	44.6	11.3	3.7
	18	学校は教室廊下・トイレ・校庭などの美化清掃をしっかり行っている。	32.5	64.6	2.3	0.2
	19	教職員は生徒の相談に、親身になって乗っている。	23.7	59.9	13.4	1.9
	20	学校は生徒の発達段階に応じて、適切な進路指導(キャリア教育)を行っている。	17.3	64.6	16.1	1.4
地域・家庭	21	子どもはほぼ毎日朝食を取っている。	77.0	14.2	5.3	2.9
	22	子どもは家庭学習(塾を含む)にほぼ毎日取り組んでいる。	36.0	33.3	21.2	9.1
	23	子どもは、地域の活動(ボランティア、防災キャンプ、清掃活動等)に参加した。	7.0	16.1	39.1	37.4
	24	子どもは公共のルールやマナーを守っている。	46.9	51.0	1.2	0.8
運営学校	25	白山中学校に子どもが通ってよかったと思う。	39.9	53.3	5.3	1.2

結果と考察

【生徒アンケート考察】

1. 学校生活について

○成果 ●課題

○感染症対策を着実にいき、仲間を大切にしている。いじめや差別をせず、仲間に対して思いやりや助け合いを心がける、優しい生徒の姿が見て取れる。

○歌声・あいさつ・行事への積極的な取組、タブレット活用を意欲的に行っている。

●先生に気軽に相談することが難しいと3割ほどの生徒が感じていること、授業の「振り返り」の学習への活用、読書への取組、SDGsの意識高揚には改善の余地がある。

2. 地域・家庭について

○ルールやマナーを守ろうとする公共の意識の高さがわかる。また、ほとんどの生徒が朝食を取っているが、1割弱の生徒が取っていない。

●地域行事への参加度が低く、あまり地域に貢献できていない。

3. 授業について「わかりやすく、工夫されているか。」

○「国語」「社会」「音楽」「美術」「保健体育」「英語」は、9割の生徒が「わかりやすく、工夫されている」と回答した。

●「理科」は否定的回答が2割あるので、結果を踏まえ、わかる実感が持てるように、授業改善していく必要がある。

4. 学校運営について

○9割を越える生徒が本校への入学を肯定的にとらえている。

【教職員アンケート考察】

1. 学校運営について

○全体的に共通理解をして取り組んでいる。

○スローガン「自律 共生 創造」については、肯定的回答が85.4%から4%上がっており、学校経営目標についての意識が高揚している。

●「職員室の相談しやすさ」について、今後さらに、話しやすい職場の雰囲気づくりをしていく努力が必要である。

2. 小中一貫教育について

●小中一貫教育については評価がやや低いので、教職員一人一人が実感する交流を進めたい。

3. 学習指導について

○今年の研修のテーマでもある「授業のわかりやすさ」「個別最適な学び」「協働的な学び」について積極的に取り組んでいる。

●学校図書館の活用については課題があり、図書館の機能を見直していきたい。

4. 学校生活について

○生活指導、倫理意識の指導を行うとともに、教育相談を行い、体力向上、防災・危機管理に日頃から努めている。

●SDGsの取組、キャリア教育、食育についてはまだ課題がある。

5. 目指す教師像について

○使命感を持って、教職に当たり、さらに修養に努めていることがわかる。100%を目指したい。

【保護者アンケート考察】

1. 学校運営について

- 感染症対策や設備環境の整備について高い評価を得ている。
- 学校目標は昨年より理解が進んでいるので、続けていきたい。（肯定的回答6%上昇）
- 白山中の在学について、肯定的な家庭が9割を超えている一方、そうっていないという回答があるので、きめ細かい連携に心がけていく必要がある。
- 保護者の願いや保護者との連携が十分だと思っていない回答があるので、連携を強化していきたい。

2. 小中一貫教育について

- 小中一貫教育については、少しずつ理解が進んできている。

3. 学校生活について

- 子どもたちの「思いやり」や「学校美化」については高い評価を得ている。
- 「授業のわかりやすさ」と「読書活動」については低い評価になっているので、家庭との連携を進めたい。

4. 地域・家庭生活について

- 公共のルールやマナーについて意識の高さと子どもたちへの信頼が感じられる。
- 家庭学習の習慣がついていない生徒が3割いることと、地域の活動に参加していない生徒が7割ほどいることである。

【全体分析】

1. 学校生活について

- 思いやりや助け合いを大切にしており、授業や道徳、学校行事や諸活動に意欲的に取り組もうとする白山中生の姿が見られ、それを保護者、教職員が支えていることも見て取れる。
- 「相談のしやすさ」について、教職員と生徒の意識の差がある。コーチング研修を活かして、教育相談の充実に努めたい。
- 授業の「振り返り」の活用、読書への取組、社会・地域の問題への関心について課題があるので、校内研修を充実させたり、生徒会・委員会活動を通して、取組を見直していきたい。

2. 地域・家庭生活について

- 公共のルールやマナーについて、意識の高さが見られる。
- 地域の活動に参加していない生徒が7割ほどいるので、ポスト・コロナの中、「地域貢献」に努めるよう声掛けをしていく。

3. 授業について

- 大半の教科では「わかりやすさ」について肯定的な評価が得られたが、さらに研修を深め、学ぶ楽しさを感じる授業づくりをしていきたい。

4. 学校運営について

- 本校スローガン「自律・共生・創造」については、意識が昨年度より高まった。
- 「白山中学校に入学してよかった」という回答については大方高い評価が得られたが、活動を充実させ、生徒が学校が楽しいと感じる学校づくりを進めていきたい。
- 職員室の風通しのよさと小中一貫教育の充実はまだ8割を下っているので、モラールアップを図っていきたい。

学校関係者評価

(PTA役員、学校運営協議会委員の意見・感想)

・白山中には3年間、大変お世話になりました。9割を超える生徒が白山中在学であることを肯定的に捉えているという考察にあるように、私も子どもも白山中でよかったと心から思っております。先生方からの日頃からのご努力に感謝します。白山中は何事にも一生懸命で、生徒が夢中になる力を引き出して下さいます。人同士の思いやり、助け合いを大切にして保護者も安心して通わせることができました。また学校の様子もHPで頻繁に更新して下さり、様子が少しでも分かりうれしいです。卒業後も時々見てみようと思っています。

学校評価における意見の中に合唱コンクールを生で見ることができず残念だったというものがありました。このことに関して友人と意見を交わしましたが、保護者が入ると収容人数の関係で全年で聴くことができないので、学校は苦渋の決断をされたのだと思いました。私としてはYoutubeで聴け、また卒業DVDにもあるとのことなので、集中して見ることでよかったです。

最後になりましたが進路指導について。学力面もちろんですが、校長先生との面接をしたり、担任の先生が作文をご指導して下さい、受験当日自信を持って臨むことができたと言っていました。また「進路ノート」「尽力」「進路だより」は保護者が欲しい情報を提供して下さい道標になりました。ありがとうございました。

・日頃は生徒指導を始め、学校教育について熱意を持って対応いただき感謝しております。評価の中で色々な意見はあって良いと思いますが、教職メンバーで心配なメンバーがいる様子です。是非、管理職メンバーにおかれましては学校方針の明確化、生徒を第一に考えた運営をお願い致します。生徒は我々大人が考えている以上に冷静に見ています。上司や保護者に忤度することなく熱い先生となってもらいたいものです。

地域とのつながりやボランティア活動についても、役員や地域の方を是非巻き込んで、生徒が自然に地域に溶け込める様な流れを作りたいと思います。

・大変忙しい中でのアンケートの集計、ありがとうございました。全体的に見ても、前年度より、肯定的な回答が上昇していること、毎年行われる学校評価を元により良い学校生活が送れるよう、一つ一つ課題解決、改善が図られている結果だと思えます。

コロナ禍の生活から通常の生活へと戻りつつある今、コロナと共存しつつ、この中学3年間という大切な時間を子どもたちの日々の生活、学び、色々な活動、行事が心に残る様、先生方、子どもたちが充実した学校生活を送れるよう、私たちPTAも今後とも協力していきたいと思えます。

・3年間とても楽しく通っていたと思えます。ありがとうございました。コロナと共いの3年間だったのでしようがない部分はあると思いますが、外での職業体験やお祭りなど地域と関われる行事がもっとたくさんあるといいなと思えます。小中一貫については小学校の内から一小と四小と交流するなど、もっと何か行事があっても面白いのでは・・・と思えました。

・いつも子どもたちのためにご尽力いただきありがとうございます。アンケートですが、内容項目が多く、答える方も見る方もおざなりになりがちな気がします。もう少し簡略化する等の工夫があればと思います。教職員の方の白山中に勤務してよかった！職員室は相談しやすい環境！という項目が全体的に上がれば、意欲も湧き、子どもたちにもいい影響になるのではないのでしょうか。毎日多感な時期の中学生と向き合うのは本当に大変なことと思います。教職員の方の元気が一番だと思います。

1. 学校生活、運営関係：コロナ禍にともなう感染症対策等定着し理解されていたと思います。今後はマスクの着脱や食事時の会話など、従来の日常が取り戻せるよう配慮をお願いします。一方でタブレットによる学習が定着しつつあることは非常に良いことであり、今後も積極的に活用していただきたいと思います。

2. 地域関係：地域行事への参加度が低いと評価していますが、受け皿が少ないことも大きな要因だと思います。何を持って「地域貢献」と考えているのか不明です。

3. スローガンについて：昨年度よりも明確でわかりやすい表現だったと思います。来年度も生徒、保護者にわかりやすいスローガンをお願いします。

4. 学校について：生徒、教員、皆様が白山中で生活することに満足しているように思えます。私自身卒業生であることを誇りに思っています。

・いつもお世話になります。コロナ禍で少しでも子どもたちのためにできる事を考えていただき感謝しています。できないではなくできることを楽しもうとすることを学んだと思います。ありがとうございました。

・日頃より生徒を第一に考えた活動、対応を行っていただきありがとうございます。コロナ禍の三年間で様々な制限がある中で最善のやり方を都度ご検討いただき、本当に感謝ばかりです。このような中でも白山の三大伝統である「あいさつ・清掃・歌声」はきちんと受け継がれていることは大変素晴らしいと思います。

考察にもありますが、読書活動とボランティア活動については学校生活をより充実させるためのオポチュニティーがあると思います。せっかく毎日朝読書の時間を設けているので図書館で借りた本を朝読書に使うとか、調べ学習の授業を（国語に限らず）図書館で行うなど、活用するためのアイデアを子どもたちに話し合わせるのはいかがでしょうか？またここ数年はコロナ禍で地域活動もままならなかったと思いますが、そろそろ再開できそうな気配ですので、年に1～2回程度は何かに参加できるよう学校から促していただくと有り難いです。子どもたちは皆部活や習い事で忙しいと思いますが、支障がない程度にたまに部活時間を使って皆で取り組めたら良いと思います。

（きっと個人では活動しづらいと思うので）

1. 学校生活：子どもたちは学校に対して不満なく楽しいと感じていたので安心していますが8%がそう思っていないと言うことを認識し取り組んでいかなければならないと感じました。先生方の相談については半数は相談しやすいと感じているものの、職員室へは相談しに行きにくいと感じています。子どもは、部活動では頑張っているのに成果を発表する機会が少ないことを嘆いています。文化祭等で全校生徒に発表やカップ祭り等のイベントや小学校への発表の場があればよいと話しています。全ての部活動で活動をアピールする場を設けるべきとも。生徒は部活動に積極的に取り組んでいると感じ取れました。SDGsの取組について、学校側の取組について、保護者の理解が浅いと感じました。生徒もどのような視点で取り組んでいるのか具体例がなくわかりにくく感じました。

2. 地域・家庭：おやじの会として防災キャンプに参加しましたが、参加生徒が少なかったのが残念でした。

3. 授業：タブレットを使用した授業については、もっと活用をしていくべきと感じています。例えば学級閉鎖等が発生したときもオンライン授業を行えば授業の遅れは妨げると感じました。オンライン授業を受けている生徒は、黒板が見えにくい、音声聞き取れないこともあったようですので、オンライン参加している生徒がいることを意識しつつ授業をしていただきたいです。授業のわかりやすさについては、生徒から実際に声を聞くのもよいと思いました。

4. 学校運営：体育祭、合唱コンクール、コロナ禍であるため、保護者参加を制限しつつライブ配信を提供するなど工夫があり良いと感じていますが、制限方法については保護者の不満が残りました。一方で授業参観については不満の声を聴かないので良い運営方法だったのだと感じました。令和5年度は感染対策は残しつつも思い切った開催を望みます。

5. その他：登下校時の防寒対策を充実させたいです。特に自転車通学でスカートの場合。

・白山中生は仲間を大切に、思いやり助け合いを心がける優しい生徒が沢山いるということ、何より9割を超える生徒が入学を肯定的に捉えているという結果が100%ではありませんが素晴らしいと思います。しかし、その中でも先生とのコミュニケーションを取ることが難しいと言うこと。でも、沢山の生徒がいる中で先生方も一人一人と親身になって向き合って下さろうと努力して下さっている姿に保護者としてとても感謝しています。

白山中の保護者の多くの方が良き理解者であり、協力的なので、今後の白山中がもっともっと良い学校になっていくことを期待したいと思います。

またコロナ禍の対応が厳しいというご意見もありましたが、厳しいだけでなく体育祭や合唱コンクールなどライブ配信など学校側も対策を取って下さっていましたので、ありがたかったです。

今後も学校、PTAそして地域の皆様と連携をとり、より良い白山中となるようにお手伝いしていきたいと思っています。

・「先生に気軽に相談できる」の評価が高くない理由は気持ちの面からか、物理的に時間がないからなのか、相談事がなく相談の必要がない子たちは否定的回答をしているからなのかが分からない。「いつ〇〇先生空いています！」のようなプレートを職員室前に掲示する等して「話に行ってみようかな」という気持ちに繋げるのも手かもしれないと思いました。

地域への活動や行事への参加が低いのは残念。昨年の防災キャンプを例に挙げると、私は参加できたが、子どもは部活動があり不参加。行事（部活）があっても参加したくてもできないというのが現状だと思う。日頃の学校の避難訓練を少し規模を大きくして地域を巻き込んでの「ミニ防災デー」としてみると子どもも全員参加出来るし、ボランティア活動、奉仕活動、地域活動のきっかけになるかもしれません。又学校林のお手入れ、保護者だけでなく在校生、卒業生にも募って月1回学期1回等、定例化してしまう等。行ける日を増やして参加しやすくするのも大切かと思えます。未体験の人へのハードルを下げて気軽に始められるきっかけ作りをしたいと思えます。

・読書活動が低いのは残念でなりません。白山中の図書館は書籍もとても充実しているばかりか、図書ボランティアの方々のお力添えも大きく、素晴らしい環境が整っているにも関わらず、利用者が少ない。クラス毎に図書館に行く日を「〇月〇日は〇年〇組デー」などとして図書館に行く日を設けたいです。

合唱コンクール、オンライン開催が大変残念という声があった。個人的にも合唱が好きで、体育祭は生で見られなくとも、合唱コンクールは絶対に生で観たいと思っています。何とか、3年の保護者だけでも観覧できるように企画できないかな・・・と思えます。

・学校に任せる部分と家庭で守る部分があり、学校のタブレットを持ち帰ったとしても、家庭での使い方は家庭で制限をかけた方がよいと思えます。学校と家庭で協力して、進めて行きたいところです。また、気軽に先生を含めて大人に相談できるかということですが、子どもたちは思春期で難しい時期です。親離れしようとする時期の子どもたちについて、保護者は冷静に見て、子どもへのストレスをかけず、自立できるよう支援していきたいものです。子どもが自立するチャンスを親が奪うということがないようにしていきたい。子どもが不平を言ってきたとき、そのまま受けるだけでなく、これからを考える材料になるように声かけしていくのが望ましい。

第三者評価

(有識者の評価)

・学校評価全体を見て、聞くことが必要な質問とそうでないものを考える必要を感じます。教科ごとにわかりやすいかどうか聞く質問について、学力テストなどで成績の変化を見たり、全国学テの質問などを利用すればよい。比較的低いと言われる教科でも、もともとの生徒の傾向や教科の特性があるので、一概にくくれないし、このことをきっかけに先生方の人間関係に影響しないかが心配です。同様に風通しの良い職場についての質問も、聞くことでマイナス面も見えるので、職員同士の関係がよくなる可能性もあり、聞かない方がよいと考える。

・先生が生徒に気軽に話しかけるのは難しいということについて、今、生徒同士で支え合うことを授業や生活で大事にしているので、先生には聞きづらく、生徒同士の方が聞きやすいのは当然だと思います。

・コロナ禍でできなかった行事があり、生徒たちは学校に来てやりたかった夢が実現しづらい環境があった。ストレスを感じ、ネガティブな結果に出ているのではないか。今、中高生くらいの年齢で殺傷事件などを起こしていることを考えると、希薄な人間関係があると思ってアンケート結果を見る必要がある。その一方、コロナ禍にもかかわらず、子どもたちはストレスを感じながらも、学校という存在を大切だという意識が芽生えていることが感じられた。

・SDGsへの取組は昨年度より上向きだが、まだ意識が高まっていないのは、生徒が「やり切った」という成果を感じていないからであると思う。手賀沼を巡る取組などを通じて、具体的に成果を感じる活動をやってはどうか。

・読書活動について。中学生の時間の使い方は現在多様化している。昔は読書に役割があったが、今は子どもたちもやることが多くある。このことを考え、読書活動は多様な価値観の一つにした方がよい。読書をしないからいけないのではなく、必要なときに読めるようにっておけばよい。質問の仕方も「読書は大事だと思いますか。」と聞いてから、読書習慣について尋ねるなどして、流れを作って聞くのも一考である。